

特色ある学校づくりに係る資料（平成30年度）

学番	32	学校名	県立長岡高等学校	校長氏名	宮田佳則
----	----	-----	----------	------	------

I 校長として目指している学校像

- 米百俵の精神に基づき、人格高潔で人間的魅力に富み、世界を舞台に指導的役割を果たすことのできる人材の育成に努める
- (1) 科学技術人材・グローバル人材の育成を柱とする「スーパーサイエンスハイスクール」(SSH)事業の各取組を適切に実行する。
- (2) 国内外の研修旅行、各種講演会等の機会を活用し、生徒に世界的視野・課題意識を身につけさせる。
- (3) 生徒の学力向上を図り、第1志望の進路実現を図る。
- (4) 知育・体育・徳育のバランス、「文武両道」の意義を再確認し、スポーツ・文化活動において全国レベルを目指す。

II 学校の目標を実現するために必要な教師像

- 常に指導力向上を目指し、授業に創意工夫ができる教師
- 意欲にあふれ、愛情を持って生徒に接する教師
- 企画力があり、リーダーシップを発揮できる教師
- 生徒の心身の状態を的確に把握できる教師

III オンリーワンスクールの取り組み

- 伝統精神【剛健質樸】【豪壮快活】【和而不同】の継承
- 長高SSH（平成30年度～平成34年度）
- (1) 研究開発課題
 - ・「課題研究」を深化・推進するカリキュラムにより、高度な科学技術人材を育成する。
- (2) 研究開発の概要
 - ・全校生徒対象に課題研究を実施し、生徒の主体性や課題解決力を高める。特に理数科では、十分な実施期間を確保し、研究の質の向上を目指す。この課題研究の手法を授業にも取り入れ、主体的・対話的で深い学びとなるよう授業改善を進める。さらに、成果発信と地域連携により、地域の理数系教育の推進を図る。

IV 本年度の具体的取り組み目標

- (1) これまでのSSH事業の取組に加え、第3期1年目の新たな取組を計画どおり進める。
- (2) 学習指導に対する生徒・保護者の信頼の確立
 - ・授業満足度 95%以上
 - ・進級不認定 0人
- (3) 進路指導の充実
 - ・大学等進学率 80%以上
 - ・大学入学者選抜改革への対応
 - ・国公立大学合格率 55%以上
 - ・難関国公立大学合格者 30人以上
 - ・医学部医学科合格者 15人以上
- (4) 生徒指導の充実
 - ・あいさつの励行
 - ・いじめの未然防止、早期発見、及び認知時の適切な対応
 - ・中途退学者 0人
 - ・問題行動 0件
- (5) 生徒の個性・能力の伸張
 - ・部活動の奨励、学校行事の充実
 - ・全国大会出場、全国レベルの表彰 12件以上
- (6) 開かれた学校づくりの推進
 - ・地域と連携した理数科の周知の取組
 - ・地域に信頼される学校づくり